

塚本先生の講演の様子 日向市立財光寺小学校



この前は、わたしたちに、ウナギの 色いろな お話を聞かせて
いただいて、ありがとうございます。

わたしは、ウナギのことは、あまり知らなかったけど、面白い
お話で、とても勉強になりました。

わたしは、ウナギのたまごを取ることは、むずかしいことと
分かったけど、その理由が、「せまい場所にかたまっている
から」と、「たまごの期間は1日半だから」と聞いて、

今までとれなかったんだなと思いました。その理由を解決
し、実際に、ウナギのたまごを取ることができた塚本さん
は、本当にすごいと思います。

わたしは、これから、色々なことにチャレンジし、どんな事
があっても、塚本さんのように目標を持って乗り越えてい
こうと思いました。

この前は、面白いお話を、本当にありがとうございます
でした。

今回は私たちのために来てくださり、ありがとうございます。
とても勉強になりました。実は私の夢は「海洋生物学者」なので、
このような体験ができ本当にうれしかったです。私がびっくり
したことは「うなぎのねとこ」という言葉があることです。なせうという
「うなぎのねとこ」という言葉は全く聞いたことがなかったからで、
次におどろいたことは急にウナギの食べ物についてお話ししてくださ
ったことです。

また、勉強になったところは「耳石」です。ただの石だけで何日たっ
のか分かるなんてすごく勉強になりました。

私が写真で初めて「フクレソウ」を見たときは、かわいく
見えました。たててみると「ツノオトシゴ」にも見えました。

もう一つ勉強になったことは、タヒチ島やインドネシアでは、
ウナギが岩の上に産卵をのけていたり、ウナギがネ申さま
であたりで、私にはおどろいたり、勉強になったりしました。
あと、ウナギがねたい魚だということも勉強になりました。

私のウナギのかんちがい、たまごは、海ではなく、川で
たまごを産むと思っていて、今回の塚本さんの話でウナギ
のすゝてがわかりました。

もう一つかんちがいしていたことは、ウナギの赤ちゃんは、
「フクレソウ」ではなく「シラスウナギ」だと思っていました。

私は本当は塚本さんの話でいろんな事を学びました。

私は、せうたいに塚本さんみたいな「海洋生物学者」になります。

今回は、いそがしい中貴重なウナギの話聞かせてもらい、ありがとうございますました。ほくの中で興味深い話が4つありました。

1つ目は、ウナギの種類です。ウナギはほくの知っているものでは5つとかなかたけれど、本当は16種あり、それに亜種というものが3種重なり合計19種ありてそのうち11種類が熱帯地方だというわけだから、なかでもインドネシアには6種類いることが分かりました。

2つ目は養殖と天然ウナギの見分け方です。

養殖ウナギは、せなか部分ははいろであなかがクリーム色になっています。天然ウナギは、おなかはクリーム色ですが、せなかは深緑や、かしょくとよはれる色になっていることが分かりました。

3つ目は1億年前にウナギは深海魚だったことです。

ウナギはすくでは水深200mから1000mのところに住んでいたと思われています。

ある日にボルネオ島からちらちらと北にいたものがキウナギ、中でも日本に来たものをニホンウナギという名前になっています。

4つ目はウナギのさん卵場所です。

塚本さんがいっていたように卵のさん卵場所はこの川の下流で、この川をすぎるとまたくとれないといっていました。そして卵のさん卵の時間も旧年と短いですが、でも発見して、世界のおとろえました。ほくも旧年で小さい卵を見つけることはすいと思いました。

これからも世界中のウナギを見つけてまた石けりゅうして新しい発見してください。

其月待しています。

先日は、おいそがしい中、来て高校生も、象だらけだけど小学生にも話してくれてありがとうございました。

わたしが一番印象に残った事は、産らんする地点を見つけるまでには何十年もかかった事で、そこまでいろんな仮説を立てそれがあたらぬ時もあったと思うけど、なんとかたどりつくまでたくさんの年月を使ったんだなと思いました。

びっくりした事は、ウサギには16種類もあることと、ツバキを神の使いとし食べたりつかまえてたりしない地域がある事で、世界にはたくさんの文化や「言い伝え」があるんだなとあらためて思いました。

わたしが思った事は、科学にはとれないという事も必要と言う事で、人もできないなどの事も、しょう来の結果につながると思いました。それからできなくてすぐあきらめなくて長い年月をかけてでも成功させるという思いも必要だと思いました。

これからわたしは、すぐ「あきらめない事」や「前の結果など」も参考にする事をがんばりたいと思います。

つか本さんもこれからもいろんな事を発明したり、見つけたりする事をがんばってください。

本当にありがとうございました！

話をきかせてくれてありがとうございます。

私が話をきいて、思ったことは、新月の夜いっせいにたまごをうむことにおどろきました。私は、たまごをうむ場所は、いっしょでも、おなじ時にうむとは思いませんでした。また、ウナギは、海で産まれ、川でそたち、海でたまごを産むという育ち方になってることも、はじめて知りました。ほかにもいろいろなことを知りうれしかったです。

その中、私が一番びっくりしたことは、
なぜ新月の夜いっせいにたまごをうむか？

① 食べられにくいから

② 広がりやすいから

③ オスとメスが出合いやすいから

という理由で、新

月の夜たまごをうむんだということでした。

私は、話をきいて、ウナギが新月の夜たまごをいっせいにうむことは、なにか理由があると思っていたけど、こういう理由とは、思いませんでした。

全部で16種類があることも知りました。私てきには、7~10種類くらいと思っていたので、16種類と聞いたとき、「え、そんなにあるんだ」と思いました。最初の時に、ウナギいかに魚やウミガメの研究もしていたとはなしていて、その中でウナギの研究が一番むずかしいと、いっていたので、びっくりしました。

話をきかせてくれて、ありがとうございます。

これから、ウナギの研究などを

がんばってください。

こんにちは、この前のうなぎの話は知らないことがたくさんあってとても興味がありました。

とても印象的だったのは、うなぎの種類が19種類もあることです。うなぎは何種類かあるのは知っていましたが、19種類もあることは知らなかったです。とてもびっくりしました。

もう一つびっくりしたことは、うなぎが深海魚だったことです。川というイメージがあったので考えにくかったです。

家に帰ってお母さんやお父さんに話しました。クイズを出しても分かりませんでした。とてもいい経験になりました。今まで

知らなかったことが分かるということがとてもうれしいです。分かったときのたっせりかんなどがあることもかんきょうになりました。

びっくりすることがたくさんあって書ききれません。その中でびっくりしたことがたまごの期間が1.5日だけのことです。

たまごを見つけるのがとても大変だったことが伝わってきました。いろいろのお話をしてくださってありがとうございました。